

# 泉南アスベスト国賠訴訟原告団 / 弁護団

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団 / 弁護団

## 泉南市長からも激励のメッセージ

判決後、毎日一〇数名の原告が代わる代わる上京しています。東京まで来るだけでも大変です。みな病気、高齢、家族の介護、仕事など、困難な事情を抱える中、必死の思いで控訴断念を訴えています。

### 解決要求テント

#### の皆様へ 五月二七日

泉南市長 向井通彦

大阪泉南アスベスト国賠

訴訟の原告の皆様、弁護団や支持者の皆様、連日の勝訴判決は皆様のご苦労の賜であり、私も安堵の気持ちで嬉しく思っております。

残念ながら、私は公務の都合で東京には行けません。皆様と心を一つに国

が控訴を断念するよう、要請活動に取り組んでいます。

(中略)

皆様方には、健康に留意され、引き続き奮闘されることを期待しております。

【朝日五月二七日】石綿被害訴訟で控訴断念を要請

一九日の大阪地裁判決について、地元の泉南市と阪南市は二六日、それぞれの市長と市議会議長の連名で、判決を受け入れて控訴しないよう求める要請書を、長妻昭厚生労働相と小沢鋭仁環境相あてに送付した。

### 地元区長からも

厚労相・環境相あて

五月二七日

樽井区長 竹野利宏

大阪地方裁判所において、泉南石綿訴訟の判決で今回

はようやく認められた第一歩であり、地元で日々の生活状況を見てきた者として、国は強く反省するとともに謝罪して控訴を断念、解決に努力することを要請します。

### 病状が深刻な在

#### 阪の患者からも

植野幸代 (二陣原告)

一五〇一六年前から、息苦しくなり、石綿肺と診断されました。今は一日おきに医者に通っています。東京に行けずみなさんには申し訳ないと思っています。国は、早く解決して、これ以上、私たちを苦しめないで下さい。

迫園敬吉

週三回透析を受けている

ため、東京には行けず、申し訳ありません。国は一日も早く解決するようにして欲しいです。

松山尋子 (二陣原告)

最近、調子が悪く、三ヶ月前に仕事も辞めました。判決前日も、今までに経験したことがないくらいしんどくなり、医者に「酷い肺やなあ」と言われました。これから身体がどうなるか心配です。一日も早く解決してほしいです。

中田秀子

今年一月に肺炎で入院し、石綿が原因だと言われました。病状が急変し、それ以降在宅酸素を使っています。チューブにつながれた生活は、気分的にもしんどく、娘の援助で日常生活を送っています。東京には行けま